

# 柱3 学びのサポートプラン

学校や子供を取り巻く現代的課題に対し、専門的な知見を有する学識経験者や地域の人材、大学生等で組織するサポートチームを設置し、その解決のための支援を行います。教育研究所では、「縦(学び合いの授業づくり)」と「横(地域とのつながりの強化)」による子供の学力向上戦略を展開します。中学校においては、学び合いの授業づくりを推進するとともに校内研修を活性化させ、講義型授業から課題解決型授業への改善を図り、教員の実践的指導力の向上と子供の学力向上を目指し、小学校においては、地域との連携・協働による学校教育力の充実に努めていきます。

## ★サポートプラン①学校や子どもを取り巻く現代的課題解決への支援

## ★サポートプラン②教員の授業力アップを目指した支援

### 取組9 学校問題サポートチームの活用

### 取組10 地域及び教員OBの人材バンクづくり



・学校が抱える多様な課題を解決するためのサポートチームを設置し実績を検証し、改善を図ります。サポートチームは、弁護士、医師、警察OB、心理士、スクールソーシャルワーカーなどの各専門分野の有識者によって組織します。

・地域人材や退職教員を活用した人材バンクを創り、学校現場で子供に関わりながら学力と生活指導両面からのサポートをしていただきます。これにより、学校だけで解決が困難な課題に対し、外部人材による助言や支援を行い、学校が効果的、効率的な教育活動を展開できるよう条件整備を図ることができます。

### 取組13 骨太の若手教員育成をめざす授業力向上研修事業



・初任者研修をはじめ、講師研修、3、4年次研修、中堅教員研修の若手教員の授業力向上を目的とした研修を実施します。優れた指導力のある退職校長や外部人材を活用し、実践的指導を通して専門的な知識やスキルの向上を図ります。また、中学校においては、学び合いの授業づくりを推進するとともに校内研修を活性化させ、講義型授業から課題解決型授業への改善を図り、教員の実践的指導力の向上と子どもの学力向上を目指します。

### 取組11 不登校児童生徒の学校復帰支援事業

### 取組12 和歌山大学と連携した学生ボランティアの推進・生徒指導補助員の配置



・和歌山大学との連携協力協定のもと行っている学生による教育ボランティア活動を一層推進し、全幼・小・中学校の学力や体力向上のための補充教室でのサポートに活用します。

・生徒指導補助員を配置し、学力向上や特別支援、生徒指導上の課題解決のためのサポートを行います。

・不登校児童生徒に対して、体験活動を重視した適応指導教室の充実を図るとともに教育相談を通して家庭や関係機関との連携を深め、不登校児童生徒の学校復帰支援を図ります。

### 取組14 身近な地域先達や退職教員等を活用した学校支援



・平素、地域の人々が学校に複数在る環境を創り、子どもや教職員とのつながりを深めながら学習や運動、生活、人間関係を助け、子供の心身ともに豊かな育成・伸長を図ります。先達は子供の学習の基礎・基本的な習得部分の学力を補強する役割を果たし、学校が行う教育の底力を定着させる助けとします。

・客員指導主事活用事業では、高い指導力と識見を有する退職校長等が校内研修等において指導助言等を行い、学校教育力を高めるサポートをします。

平成29年度

30年度

実践

31年度

改善・深化

32年度

定着・発展

33年度

取組9 学校問題サポートチーム設置事業の実績検証・改善

取組10 地域及び教員OBを活用した人材バンク

取組11 不登校児童生徒の学校復帰支援 適応指導教室の充実・教職員研修

取組12 生徒指導補助員の配置・和歌山大学と連携した学生ボランティアの推進

学生ボランティアの活用 学習補充教室推進事業、生徒指導補助員配置事業

取組13 骨太の若手教員育成をめざす授業力向上研修事業

・退職校長等を活用した新規採用3、4年目の小中学校教員授業力向上研修、中堅教員研修の実施  
・中学校における学び合いの授業づくり

取組14 地域先達や退職校長等を活用した学校支援

学校と地域先達が、相互充足感を感じながら地域の子供を育成・退職校長等で組織する客員指導主事を活用した学校支援

組織としての課題解決力

不登校児童生徒の課題解決  
和歌山大学との共存共栄

次代を担うプロ教師の育成

しなやかで堅固な学校組織

サポートプランタイムテーブル